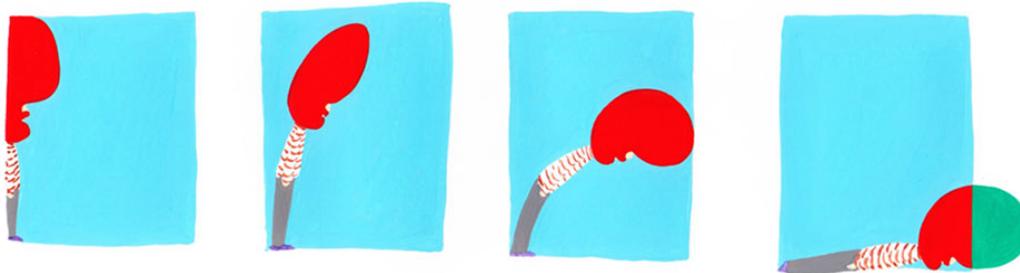




\Making Art Different—アートを変えよう、違った角度で見よう/ 開講17年目「現代アートの学校 MAD」申し込み受付中



Drawing by Peter MacDonald

NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト]が2001年に開講した現代アートの教育プログラムMADでは、アートに関心のあるすべての方にむけた学びの場を提供しています。

本年度は、アートが「私たちの生きることと直結している」という視点から、「ホリスティック（全体性=健やかに生きること、ものごとを癒すこと）」をテーマに、生活、工芸、新たな共同体づくりなど、さまざまな視点から日々の疑問や気づきを拡張させます。

MAD2017 の特徴

- ✦ 受講資格は特になし! はじめて現代アートに触れる人から専門的に学びたい人まで、熱意があるほど学びが広がります。
- ✦ 4つの「シリーズ」は1回から受講可能。目的やスケジュールに合わせて、無理なく通えます。
- ✦ 絵画の歴史からグローバルな視点でアートにアプローチするレクチャーなど、多層で革新的な学び!
- ✦ レクチャー終了後にミニ・バーをオープン。講師やMAD生同士で交流も!
- ✦ 当日欠席しても録画したレクチャーを視聴できます。(一部除く)
- ✦ 代官山から徒歩3分/恵比寿駅から徒歩8分! お仕事帰りに気軽に受講できます

MAD2017 プログラム

▼ 単発講座「シリーズ」 好奇心にまかせて学びを広げたい方へ

- 『GATEWAY』 ～アートの世界へアクセスする入門編～
- 『NEW COMMUNITIES』 ～社会の中で多様な共同体として生きることは～
- 『SPIRITUAL ART』 ～実験的な知とアートについて考える～
- 『BODY OF PAINTING』 ～ペインティングが映し出す人生の歩みとは～

▼ 短期講座「MAD World」 特定のテーマについてじっくり考えたい方へ

- Vol.1 『米国におけるメディア・テクノロジーとアートの最新動向』
- Vol.2 『タイ現代文化概論：文学・映画・美術・場所・政治・人の多様と未分化』
- Vol.3 『音楽と社会の関係性（仮）』
- Vol.4 『ニューヨーク近代美術館のコレクションを通して見えてくるもの』

▼ 通年ゼミ「読み書き工房」 自分の言葉でアートを語りたい方へ

実践と振り返り、グループ・ディスカッションを通して、「読む」「考える」「書く」という評論の基礎的な能力を1年かけて身につけます。ゼミの最後は、小冊子を制作します。

▼ 通年サロン「アート・パートナーズ」 ビジネスの視点からアートの価値について考えたい方へ

ビジネスのプロフェッショナルを招き、1年間かけてアートとビジネスやパトロナージュの新しい可能性について考えます。プロセッコを楽しみながらサロン形式で行われます。

▼ オンライン無料で講座「FREE MAD」 アートの歴史を学びたい方へ

1900年から2003年の美術史約100年分をテーマごとに配信しています。少しずつ、現代アートを眺めてみたい方やMADに通う時間が取れない方におすすめです。

講座教約 70!



申込終了

申込終了

講師 (抜粋、順不同) : アンドリュー・マークル (フリーランスライター/編集者)、ヴィヴィアン佐藤 (非建築家/美術家/ドラッグクイーン)、エリイ (美術家「Chim↑Pom」メンバー)、ピーター・マクドナルド (美術家)、フランシス真悟 (美術家)、ロジャー・マクドナルド (MADプログラム・ディレクター/AIT 副ディレクター)、磯部涼 (音楽評論家/ライター)、石田エリ (編集者)、石田尚志 (美術家)、占部史人 (美術家)、大林剛郎 (株式会社大林組代表取締役会長)、奥山理子 (みずのき美術館キュレーター/アーツカウンシル東京「TURN」コーディネーター)、大坂紘一郎 (アサクサ代表)、坂田智子 (「かくれ」ブランドディレクター)、塩原将志 (アート・オフィス・シオバラ代表取締役)、塩見有子 (AITディレクター)、しりあがり寿 (漫画家)、土井未穂 (ドイツ銀行グループ広報部コミュニケーションズ・スペシャリスト)、南條史生 (森美術館館長)、福富渉 (タイ文学研究者)、藤本幸三 (アーティスティックディレクター/株式会社ジェイアイエヌコーポレートアドバイザー)、堀内奈穂子 (AITキュレーター)、松本大 (マネックス証券株式会社代表取締役会長 CEO)、毛利悠子 (美術家)、森岡督行 (森岡書店オーナー)、森弘治 (美術家)、山村みどり (ニューヨーク近代美術館[MoMA]講師)、湯浅真奈美 (ブリティッシュ・カウンシルアーツ部長)、和田昌宏 (美術家)、吉野誠一 (アート・コレクター) ほか

開講期間：2017年4月～12月

開講時間：平日19:00～21:00 (ただし、土曜日は日中)

場 所：代官山AITルーム (東京都渋谷区猿樂町30-8 ツインビル代官山 B-403)、都内近郊のアート施設ほか

受講料：3,900円 (税別) ～

定 員：12名～

主 催：NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

マッド

MADとは？

一見、難解に見えたり、馴染みにくいイメージのある現代アートですが、作品の背景にあるアーティストの考えや社会との関係を知ることで、その魅力は無限に広がります。レクチャーとディスカッションで構成される MAD での学びを通して、アートの歴史や文脈、そしていまの時代や社会を投影する作品や考えをより深く知ることによって、きっと、自分の想像力が押し広げられ、能動的に考える楽しみを手にすることができるでしょう。

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]とは？

現代アートを考えるさまざまな「場」をつくるため、2001年に設立したNPO。アーティストやキュレーター、美術館やギャラリーのほか、企業、財団、行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、アートについて話し合う場をさまざまなプログラムを通じて創り出しています。<http://www.a-i-t.net>

受講生・修了生はどんな人？

現代アートに関心のある20～60代の社会人が中心で、ITや金融、商社、不動産、行政、デザインや広告など様々な業界で働いています。近年は学生やシニアも増えており、これまでに2,100名以上が受講しました。「アート鑑賞の幅を広げたい」「アート好きの仲間を作りたい」「アート界で働きたい」「仲間を募ってアートプロジェクトやビジネスを始めたい」「海外の動きを知りたい」などを目的に参加されています。



受講生の内訳：社会人80% 学生10% その他10%

男女比：男性30% 女性70%

年齢層：19～82才 (20代後半から40代前半多数)

修了生が活動している美術館やギャラリー、企業、プロジェクトなど：

東京都現代美術館、森美術館、三菱一号館美術館、女子美術大学美術館、せんだいメディアアテーク、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、21 21デザインサイト、国際交流基金、東京文化発信プロジェクト室、BankART1929、アートフェア東京、SCAI THE BATHHOUSE、オオタファインアーツ、URANO、ユカ・ツルノギャラリー、青山 | 目黒、レントゲンヴェルケ、日本経済新聞社、朝日新聞出版、Tokyo Art Beat、CAMP、トーキョーワンダーサイト、クリスティーズ、αMギャラリー、8/ART GALLERY/TOMIO KOYAMA GALLERY、ほか多数 (順不同)

MAD に関するお問い合わせ：特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

担当：大隈・青木

HP: <http://mad.a-i-t.net/>

Email: mad@a-i-t.net

Tel: 03-5489-7277

Fax: 03-3780-0266